

きらり



令和4年2月4日

磐田中部小学校

第2学年 2月号

3学期も良いスタートを切りました！



- 寒い日が続いています。今年は短なわ跳び大会がありませんが、体育の時間や昼休みに時間を見つけて練習を頑張る子どもの姿がたくさん見られました。なわ跳びカードを使いながら、子供たち一人一人の目標が達成できるよう励ましていきたいと思えます。

コロナウイルス予防のため学校では、マスクの着用・手洗いを呼び掛け、換気に気を付けていきます。御家庭でも引き続き十分な体調管理をお願いします。

ます。



○家庭学習「掛け算」について

掛け算九九のテストを終え、合格と同時に練習への取り組み方も、子供たちそれぞれになっています。九九は、3年生のわり算へとつながる大切な基本です。学校では、九九を使った問題を解かせたり、唱えたりする内容を授業で取り入れています。1（いち）、4（し）、7（しち）、8（はち）と唱える九九にミスが多いことが気になりました。繰り返し練習することが大切です。御家庭でも九九カードを週に何度か順番を変えたり、子供の苦手な段の九九をまとめて最初に唱えさせたりするなどして、九九が着実に定着するように御協力いただくとありがたいです。タブレットで、ばら九九の練習を行うのも効果的です。引き続き、九九カードの見届けや励ましをよろしく願います。

○県定着度調査の結果について

国語では、漢字の読み書き、「を、へ」などの助詞の使い方がよくできていました。力を付けていきたい点は、漢字の筆順と文章問題から文章中の大事な言葉や文章を書き抜く問題です。文章問題の答えの探し方や着目するポイントを伝えたり、書き順の意味や大切さを指導したりしていきます。

算数では、二桁の足し算と引き算の筆算、表とグラフなどがよくできていました。力を付けていきたい点は、ものさしの合わせ方と読み方です。普段の学習でも使い方を確かめながら、定着を図っていきます。「時刻」と「時間」の区別ができていないので、生活の中で時計などを使いながら指導していきます。絵を見て問題作りでは、「ずつ」や「～は全部で」など問題作りに必要な言葉を伝えて復習していきます。

○書き取りのやり方の変更について

1月から書き取り（漢字）の練習方法を変更しました。まず、漢字スキルを見て、平仮名を書きます。その後テストのように漢字を書いていきます。子供たちが自分で漢字の読み書きの力を付けていくことを願っています。詳しくは、「漢字書き取りのやり方」のお手本を御覧ください。